

令和5年度「英語指導力向上事業」報告書 ～いわき市立中央台東小学校～

現状の課題

伸ばしたい児童の英語力

- ・ 進んで英語でコミュニケーションを図る姿勢
- ・ 相手の発言や場面に応じて対話を継続する力
- ・ アルファベットを正しく読み、書く力
- ・ 相手(友達・教師・ALT)が表現したことを聞き取る力
- ・ 自分のことを伝えるために、思考・判断・表現する力

具体の取組の内容

- ・ 英語による「対話」を重視した授業…「目的・場面・状況」を意識した言語活動の充実
- ・ 小中、小小連携…中央台版CAN-DOリストの共有、授業研究会への相互の参加、交流授業
- ・ 英語にふれる機会…ALTとのふれあいタイム、留学生(大学生)との交流授業、英語版校歌の合唱、校舎・教室への英語の掲示物、英語本コーナー
- ・ 教員の授業力向上…授業研究(要請訪問)、ふくしま外国語教育推進リーダーによる実技研修や授業動画視聴
- ・ ICT活用 …デジタル教科書、オクリンク、スピーキングクエスト

成果①

- ・ 「対話」を重視した授業や、英語にふれる機会づくりによって、児童が、英語での発音や対話に慣れ親しみ、楽しみながら学ぶ姿がたくさん見られた。また、目的をもって言語活動に繰り返し取り組むことを通して、基本的な表現を身につけることができた。交流授業や校舎内環境整備も効果的だった。
- ・ 中学校区内で共有しているCAN-DOリスト(Road Map)をもとにした振り返りを毎時行うことにより、到達度の共通理解を図りながら進めることができた。

成果②

- ・ ふくしま外国語教育推進リーダーの日々の授業づくりをもとにした研修の機会をつくってきたことで、より実践的な学びを得ることができた。
- ・ ICT活用法を職員間で共有しながら授業に取り組んだことや、デジタル教科書やオクリンクで視覚的に共有したこと、スピーキングクエストで補充できたことにより、学習内容に対する児童の理解が深まった。

今後の課題・方向性

- ・ ふくしま外国語教育推進リーダー以外の担任の多くが外国語活動・外国語科の授業を担当していないため、来年度は今年度の学びを生かしながら実践し、指導のスキルを高めていきたい。
- ・ CAN-DOリストをもとにした児童の実際の到達度について、中学校教員から意見を聞いて検証し、重点的に取り組むべき課題を中学校区内で共有していきたい。
- ・ 英語に苦手意識をもつ児童や、伝え合いに消極的な児童への具体的な支援の仕方考えたい。